

外国語能力開発センター

Center for Foreign Language Proficiency (FLP)

ニューズレター No. 2

2013年度前半の活動を中心に

FLP は2012年4月に設置された「外国語の習得・教育」に関する研究所です。設置から2年目の今年度は、研究体制を整備し、その当面の研究テーマを「日本人(特に大学生)の英語力の把握とその向上」に絞り活動しています。

今年度は、副センター長に英米語学科准教授の パク シウオン先生が、ポスクレレベルの研究者として野村真理子氏が着任し、本学の多くの英語教育を専門としている先生方との協力・連携体制も形成されつつあり、学生の英語力の把握、効果的な学習・教育法の開発などに関する研究を充実させるべく活動を本格化させています。特に、本学の言語教育・研究に携わる教職員がインフォーマルな雰囲気での発信や意見交換を行う『FLP 談話会』を発足させ、5月と7月に開催しました。さらに、以下の要領で学内外の研究者による意見交換の機会を持ちました。

昨年度から継続・充実させている「学生の英語力調査」などについては、次号 (No. 3) にて詳述報告します。

● 「英語教育ワークショップ at ブリティッシュヒルズ」の開催: 2013年8月21日(水)～22日(木)

学内外から発表者を含め20余名の先生方にご参加いただきブリティッシュヒルズで1泊2日のワークショップを開催しました。活発な意見交換と和やかな親睦を通し、今後の共同研究の可能性についても討議しました。

第1日目 (2013年8月21日(水)) 学外の先生方による研究発表を中心に

14:00～	ご挨拶、全体概要 長谷川 信子	
14:20～	松本 マスミ (大阪教育大学)	TOEFL テストと大学英語教育
14:45～	梅原 大輔 (甲南女子大学)	日本人英語学習者が持つ主語への意識
15:10～	牧 秀樹 (岐阜大学)	The Minimal English Test の有用性
15:35～	遊佐 典昭 (宮城学院女子大学)	生成文法と英語教育
16:00	休 憩 (& Check in)	
16:30～	永井 典子 (茨城大学)	Hawkins & Filipović の基準特性に基づく日英比較研究
16:55～	綾野 誠紀 (三重大学)	大学生を対象とした学習英文法: 理論言語学の知見から
17:20～	平川 眞規子 (文教大学)	動詞の習得: テンス・アスペクトと項構造
17:45～	森山 卓郎 (早稲田大学)	英語教育と国語教育の連携

第2日目 (2013年8月22日(木)) 本学の先生方による研究発表を中心に

9:30～	パク シウオン & 小坂 貴志	KUIS students' development and changes of foreign language motivation, aptitude, and proficiency
10:00～	藤巻 一真 & 田川 憲二郎	TOEICとセンター試験における文頭要素の複雑さ
10:25～	野村 真理子	英語教育研究リソースとしての各種語彙リスト
10:45～	神崎 正哉 & 澁谷 由紀	TOEICリスニング、リーディング、スピーキングテストと2つの語彙テスト
11:10～	田中 眞紀子	アメリカの小学校での海外実習における学生の意識の変容
11:35～	朴 ジョンヨン	国際スポーツイベントにおける通訳ボランティアの成果と課題
12:00～	小野田 榮	動機付けおよび自己調整学習がリスニング能力向上に与える影響
12:30	昼 食	
14:00～	全 体 討 議 司会: 長谷川 信子	